

実施団体名（能登前食材体験開発協議会）・事業名 世界に誇る能登前食材 体験開発・発信プロジェクト

○事業概要（地域の現状・課題、事業の目的、事業の内容 等）

下記課題を解決するため取組を実施する。

- ①北陸に顕著な傾向である冬の時期の客足落ち込み
 - ②同県内のハブ都市・金沢には年間60万人超のインバウンド来訪があるが能登半島の宿泊中心地であるここ和倉温泉には年間約3万人泊と、その5%未満の来訪
 - ③能登の冬の最大の魅力は超一級の高産物であるが、付随する体験開発が未着手であり、その魅力を体感的に伝える手段が無い
- ⇒このため旅館6館で一級品である能登前の冬食材に関する体験プログラムを開発・PRエージェントを通じて世界発信

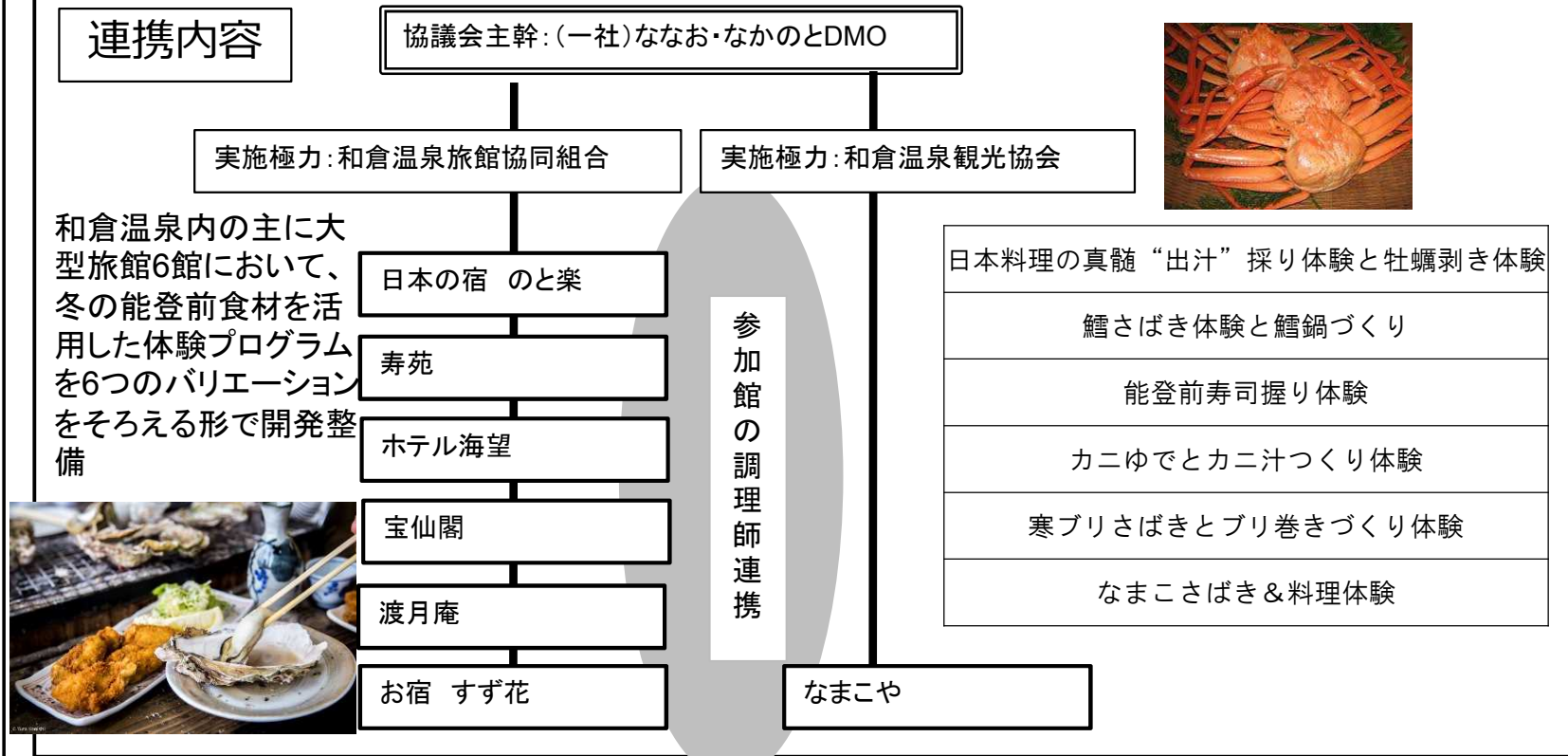
【取組内容】

- ①旅館で実施する体験プログラムの開発
- ②開発された体験プログラムのお披露目イベント
- ③体験プログラムの告知印刷物の製作
- ④体験プログラム告知サイト（HP）製作およびSNS発信

【実施スケジュール】

- 6月 採択後キックオフMTG
- 7・8月 体験具体手法研究開始
- 9月 食材調達件検討開始
- 10月 体験プログラムレギュレーション（料金・時間・参加条件等）検討・決定
- 11月 体験プログラム実施シミュレーション
- 12月 体験プログラムお披露目イベント準備
- 1月 体験プログラムお披露目イベント開催 サービス開始
- 2月 イベントおよび体験プログラムコンテンツ世界発信（PR）
- 3月 次年度に向けた会議

連携内容



目標・実施体制スキーム

【全 進行をDMOが統括し、その中で、「体験開発」「イベント実施」「対外発信」の3部門のアドバイザを起用、旅館組合および観光協会と三位一体の協力体制を構築しつつ、各参加旅館の連携をプロデュースしていく。なお開発された体験はその館に帰属するものではなく、相互に体験実施できるようにノウハウを共有化する。

【アウトプット】

体験プログラム実施回数 令和2年1～3月の3か月に計10回開催

【アウトカム】

- ①体験プログラム参加者数 令和2年1～3月の3か月に計100人
- ②体験プログラムPR海外発信 取り上げてれる媒体数30媒体 最終リーチ想定数計10万人